



絵本のある場所が すべてSDGsの入り口になりますように

絵本でSDGs推進協会×アトリエペタタ



# 絵本とアートでSDGs

2021年7月号

「あっ！これってSDGsだ！」 「ねえ、これって防災につながるね！」 そう！身の回りにはSDGsや防災・減災につながるものがたくさんあります。むずかしく考えずに、絵本とアートで日々の生活に取り入れてみませんか？

3 すべての人に健康と福祉を



17 パートナリシップで目標を達成しよう



## 7月のおすすめ本



ゆうこさんのルーペ  
作・絵：多屋 光孫  
出版社：合同出版

「障がい」について知り、考えることができる絵本です。生まれつき目がよく見えないゆうこさんは「ルーペ」を使って本を読みます。その独特な姿を見た男の子は、とても不思議でしかたがありませんでした。そこでゆうこさんにその「ルーペ」を借りて実際にのぞいてみるとそこには大きな文字と今まで知らなかった世界がありました！  
実話をもとにした絵本です。巻末にはこの本に関わった人たちからのメッセージも載っています。相手を知ることの大切さも学べる絵本です。

## 暮らし×SDGs

先月号よりこちらの文字をユニバーサルフォント (UD Font) に変更しました。このフォントは「できるだけ多くの人利用可能であるデザイン」という考えから見やすさなど、細かい部分に配慮・工夫されたものです。こちらは障がいのある方だけでなく、一般の人もお年寄りも、外国人の方もみんなが便利だ！と思えるデザインということです。最近では高速道路の標識や公共機関の案内にも使われ始めています。自分の生活の中にこのようなフォントがあるか、探してみると新たな発見につながると思います。



朝日 仁美

絵本でSDGs推進協会代表理事  
学校司書 絵本専門士

SDGsforSchool認定エデュケーター

11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



## 防災×アート

子どもが何人も乗って描く事ができる大きな紙に、アクリル絵の具を使って絵を描きました。楽しくて貴重な機会です。なお、近年のゲリラ豪雨の話なども踏まえ災害から身を守る行動や環境を守るためにどの様な行動をとるのが良いのか考えるきっかけになりました。



石橋 幸子

絵本でSDGs推進協会理事  
NPO法人アトリエPetata理事長  
保育士 防災士 絵本専門士

## 7月のおすすめ絵本



だいじょうぶ？だいじょうぶさ！  
作・絵：ダビッド・モリション  
訳：小宮 悦子  
出版社：小学館

6月27日に京エコロジーセンター（京都市環境保全センター）にて開催された『こんな未来になってほしい！大きなキャンバスにお絵描きしよう』というイベントに、講師としてお伺いしました。まず、エコセン職員の方からCO2削減のことや、異常気象によるゲリラ豪雨、環境破壊の説明がありその後読んだ絵本がこちらです。得体の知れない『おせんぶっしつ』をいくら遠くに捨てても自分たちの暮らしに戻ってきてしまう事が小さな子にも理解しやすく、環境を守ることにについて考えさせられる絵本です。